

すっかり秋になった苦小牧。40年前に開館した苦小牧市博物館の宝物が40年ぶりに展示されていました。子ども記者たちの細かな観察と想像力で昔の苦小牧が生まれ変わったように生き生きとしたイラストや記事になっていきました。(編集部)

9月20日[土]～11月30日[日]



企画展
苦小牧の文化財
〜ひともものがつなぐ歴史〜



イラスト
おおはら
大原 ちづる

厨子といういままでいう大事なもののいれは、黒と金色できれいだった。騎馬武者絵という絵にかいている人は、熊本城をつくった人。騎馬武者絵はかなりえのぐがとれてよく見ないと見えない。むかしの人は木に絵をかいていた。いしとかがまんなかについた金属のネックレスをしていたりしていたかもしれない。土器ってかなりうすい。(大原ちづる)

わたしは、首かざり(タマサイ)について話を聞きました。円ばんのかざりは、タンスの引く部分だそうです。円ばんにある三本の線は、「トモエモン」というそうです。首かざりなので、たくさんボールがついていました。(田野菜絆)

首飾り

イラスト
たの こな
田野 心絆



イラスト
たの かんな
田野 菜絆

わたしは、首飾り(タマサイ)について話を聞きました。首飾りは、アイヌの女の人々が大事なぎしきの時につけたそうです。首飾りの玉は、ガラス玉と言って、中国や本州から渡ってきた。何かと何かで交かんして、ガラス玉を手に入れたそうです。タイコについているもようみたいな物を「ともえもん」といいます。おばあちゃんからお母さんから子どもへとうけつがれてきた。(田野心絆)

錦岡樽前山神社円空作樽前権現像

1666(寛文6)年前後 錦岡樽前山神社蔵

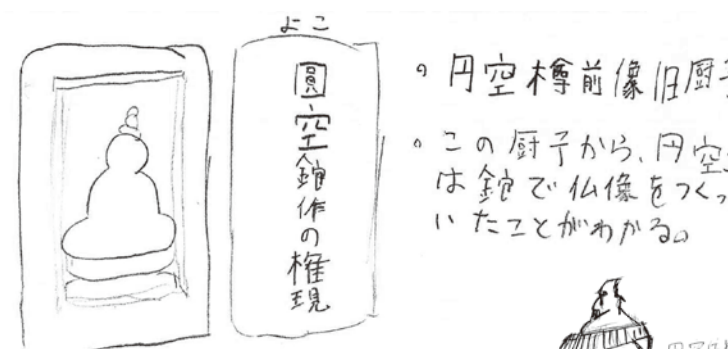


イラスト
いちかわ みお
市川 美音

イラスト
やまもとじょうたろう
山本丈太郎

わたしがわかったことは、全国で彫刻をしている人が北海道にきて、ちょうどそのとき、樽前山がふんかして、そのとき、円空さんが人びとのあんぜんをねがって、ちようこくをして、そのせなかに、たるまえさんとかいてあるのがわかりました。(市川彩音)

円空樽前権現像



イラスト
いちかわ みお
市川 美音

円空作樽前権現像を大切に守るために石をけずってできたてはばと横はばがびったりの箱がすごかったです。円空作樽前権現像旧厨子は、約100kgの重さがある。(吉本なつか)



アイヌ丸木舟
および推進具



イラスト
たなか みずき
田中 瑞紀

展示室では、発掘時の映像も
見ることができたよ！